

平成28年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔保健体育〕 種目〔保健体育〕

平成28年度から使用する中学校用教科書の採択について

教科 [保健体育] 種目 [保健体育]

1 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、各区にスポーツセンターが設置されているとともに、全国大会を開催することができる陸上競技場や体育館等の施設が、充実している地域である。また、プロをはじめ、トップレベルのスポーツチームが数多くあり、優れたプレーを間近に観戦できる地域である。
- 平成26年度の「全国体力・運動能力、運動習慣調査」によると、本市の生徒の体力の実態として、筋持久力、柔軟性、敏捷性などに改善が見られるが、筋力や全身持久力に課題が見られる。また、運動することが好きな生徒が多い一方、学習したことを実生活・実社会に生かそうとする生徒が少ないことが課題である。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 健やかな体の基礎となる身体能力と知識の定着を図るための工夫 ② 運動や健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫
<主体的に学習に取り組む工夫>	③ 学習意欲を高めるための工夫 ④ 実生活・実社会に関連づけるための工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況
<内容の表現・表記>	⑦ 本文の記述と適切な関連がなされたイラスト・写真等の活用 ⑧ 文字の大きさや配色等の工夫
<言語活動の充実>	⑨ コミュニケーション能力や論理的思考力を高めるための工夫

3 各教科書の特徴及び意見

1 基礎・基本の定着

(1) 健やかな体の基礎となる身体能力と知識の定着を図るための工夫

- 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の左上に示すとともに、本文中に太文字で強調している。
- 説明が必要な本文の用語に、丸番号のルビを振り、見開き両端にその説明を掲載している。
- 各章末に知識の習得を確認する「確認の問題」と知識を活用して考える「活用の問題」で、2段階の問題を示している。また、「学習を振り返ろう」で、知識の定着状況を自己評価できるようにしている。
- 大単元「運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全」の章末資料で、体力の要素を体力を高める運動例と、行う目安との関係で示している。

(2) 運動や健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫

- 「リンク」マークを付し、関連する学習内容が、他のページにあることを示している。
- 「保健体育クイズ」で、学習内容に関連した情報をクイズ形式で示している。
- 「ポイント」マークを付し、資料やグラフを読み取る際の観点を示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- 各章の冒頭の「この章で学習すること」で、小単元の目次や主な学習内容を示している。
- 「読み物」で、本文で学習する内容に関連した話題や読み物資料を24ヶ所に示している。

(2) 実生活・実社会に関連づけるための工夫

- 「心肺蘇生法の方法」「交通環境調べ」など、体験的な学習を実施するための実習資料を7ヶ所、調査資料を11ヶ所に示している。
- 小単元「自然災害による危険」で、地震の二次災害による土砂崩れを扱っている。
- 大単元「傷害の防止」の章末資料で、安全マップの作成の手順を示している。
- 小単元「応急手当の意義と心肺蘇生」の本文で、AEDの使用目的を説明し、章末の実習資料で、AEDの設置場所、AEDの使用手順を示している。
- 各章の最後の「日常生活に生かそう」で、学習した内容を日常生活に生かすことについて書く活動を示している。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 小単元を、2ページまたは4ページで構成し、学年ごとに章立てし、保健編と体育編の順で配列している。

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 「章末資料」で、「地球温暖化による健康への影響」「自転車安全利用五則」など、発展的な内容の資料を9ヶ所に示している。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連がなされたイラスト・写真等の活用

- 学習活動に応じて、「やってみよう」「考えてみよう」などのマークを付している。
- 小単元「運動やスポーツの学び方」の章末資料で、運動やスポーツの学び方を「運動やスポーツの基本的な正しい動き方を見つける」「課題を決め、合理的な練習計画を立てる」「実行した技術や戦術、表現がうまくできたか確認する」の3段階のイラストで示している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

(1) コミュニケーション能力や論理的思考力を高めるための工夫

- 各単元の「考えてみよう」で、考えたことを書き出したり、説明したりする活動を示している。
- 「活用の問題」のコーナーで、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題や解決方法をまとめる学習活動を示している。
- 巻頭の「保健体育の学習方法」で、「事例などを用いたディスカッション」「ブレインストーミング」「ロールプレイング」などの言語活動例を、イラストを交えて示している。

1 基礎・基本の定着

(1) 健やかな体の基礎となる身体能力と知識の定着を図るための工夫

- 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の右下に示すとともに、本文中に太文字で強調している。
- 説明が必要な本文の用語に、星印と数字のルビを振り、本文近くにその説明を掲載している。
- 各章末に「学習の要点」で、学習内容を整理して示している。
- 大単元「運動やスポーツが心身の発達にあたえる効果と安全」の章末資料で、体力の要素を中学校で学習する運動との関係で示している。

(2) 運動や健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫

- 「リンク」マークを付し、関連する学習内容が、他のページにあることを示している。
- 「ミニ知識」で、学習内容に関連した情報を示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- 各章の冒頭の「この章で学習すること」で、学習内容に関連した問いや学習内容の構造図を示している。
- 「トピックス」「トピックス+ (プラス)」で、本文で学習する内容に関連した話題や読み物資料を45ヶ所に示している。

(2) 実生活・実社会に関連づけるための工夫

- 「反応の確認から心肺蘇生法のしかた」など、体験的な学習を実施するための実習資料を6ヶ所、調査資料を8ヶ所に示している。
- 小単元「自然災害による傷害の防止」で、地震、台風、大雨の二次災害による土砂崩れを扱っている。
- 大単元「傷害の防止」の章末資料で、災害に備えておくための確認事項をチェックリスト形式で示している。
- 小単元「応急手当の基本」の「トピックス」で、AEDの設置場所、使用目的について示している。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 小単元を、2ページまたは4ページで構成し、体育編、保健編の順で配列している。(1小単元のみ6ページ)

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 「資料」で、「自然災害で避難するときに携帯するもの」「喫煙や受動喫煙の害」など、発展的な内容の資料を13ヶ所に示している。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連がなされたイラスト・写真等の活用

- 学習活動に応じて、「考えよう」「学習を生かして」などのマークを付している。
- 小単元「運動やスポーツの学び方」で、運動やスポーツの学び方を「目的に合わせて自分やチームの練習方法を決める」「練習計画を立てる」「よい動き方を見つけ、練習する」「練習したことがうまくできたかどうかを確かめる」の4段階の図で示している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

(1) コミュニケーション能力や論理的思考力を高めるための工夫

- 各単元の「学習を活かして」で、考えたことをまとめたり、説明したりする活動を示している。

1 基礎・基本の定着

(1) 健やかな体の基礎となる身体能力と知識の定着を図るための工夫

- 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の左側に示し、本文中に太文字で強調している。
- 説明が必要な本文の用語に、丸番号のルビを振り、見開き両端にその説明を掲載している。
- 各章末に「学んだことを振り返ってみよう」で、知識の定着状況を自己評価できるようにしている。
- 小単元「運動やスポーツの体への効果」で、体力の要素を体づくり運動との関係で示すとともに、特設ページの「Challenge」で、運動の計画を立てる学習活動を示している。

(2) 運動や健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫

- 「参照ページ」マークを付し、関連する学習内容が、他のページにあることを示している。
- 「コラム」で、学習内容に関連した情報を示している。
- 吹き出しを付し、資料やグラフから読み取ることのできる科学的な知識を示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- 各章の冒頭で、小単元の項目や学習内容に関連する問いを示している。
- 「コラム」「事例」「Topic」で、本文で学習する内容に関連した話題や読み物資料を55ヶ所に示している。
- 脚注に、「URL」マークを付し、学習内容に関連したインターネットのページを紹介している。
- 小単元の冒頭の「Question」で、学習内容と生活経験を関係付けた問いを示している。

(2) 実生活・実社会に関連づけるための工夫

- 「心肺蘇生法を練習してみよう」など、体験的な学習を実施するための実習資料を8ヶ所、調査資料を3ヶ所に示している。
- 小単元「自然災害への備えと避難」で、地震、集中豪雨の二次災害による土砂崩れを扱っている。
- 小単元「自然災害への備えと避難」の特設ページの「Challenge」で、防災計画を立てる学習活動を示している。
- 小単元「心肺蘇生法」の「コラム」で、AEDの設置場所、使用目的、種類を掲載するとともに、「実習」で、AEDの使用手順を実習課題として示している。
- 各章の最後の「学びを生かそう」で、学習した内容を日常生活にどのように生かすことができるかについて書く活動を示している。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 小単元を、2ページまたは4ページで構成し、体育編、保健編の順で配列している。

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 「Challenge」「コラム」で、「体力を高める運動の計画を考えよう」「防災計画を立てよう」など、発展的な内容の資料を18ヶ所に示している。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連がなされたイラスト・写真等の活用

- 学習活動に応じて、「Question」「Try」などのマークを付している。
- 小単元「運動やスポーツの学び方」で、運動やスポーツの学び方を「目標や課題の設定」「よい動きの理解」「合理的な練習」「練習効果の確認」の4段階のイラストで示している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

(1) コミュニケーション能力や論理的思考力を高めるための工夫

- 各単元の「Try」で、考えたことを書き出したり、話し合ったりする活動を示している。
- 「活用」のコーナーで、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題や解決方法をまとめる学習活動を示している。
- 特設ページ「Challenge」で、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題を明確にし、解決方法をまとめる学習活動を示している。
- 巻頭の「保健体育の学び方」で、「ブレインストーミング」「ディスカッション」などの言語活動例を、イラストを交えて示している。

意見

大修館書店の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

大修館書店の教科書の特徴である、小単元「運動やスポーツの体への効果」で、体力の要素を体づくり運動との関係で示すとともに、特設ページで、運動の計画を立てる学習活動を示していること、小単元の冒頭で、学習内容と生活経験を関係付けた問いを示していること、各章の最後の「学びを生かそう」で、学習した内容を日常生活にどのように生かすことができるかについて書く活動を示していること、コーナーや特設ページを設け、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題を明確にし、解決方法をまとめる学習活動を示していること、巻頭で「ブレインストーミング」「ディスカッション」などの言語活動例を、イラストを交えて示していることは、思考力、判断力、表現力の育成をめざすひろしま型カリキュラムを推進している本市の取組や筋力、全身持久力が十分でないという課題、学習したことを実生活・実社会に生かそうとすることが少ないという課題がある本市の生徒の状態により対応することができるものである。

1 基礎・基本の定着

(1) 健やかな体の基礎となる身体能力と知識の定着を図るための工夫

- 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の左上に示し、本文中に太文字で強調している。
- 説明が必要な本文の用語に、丸番号のルビを振り、各ページ右側にその説明を掲載している。
- 各章末に知識の習得を確認する「用語の確認 10」「基礎の完成」と知識を活用して考える「活用の問題」で、2段階の問題を示している。
- 大単元「スポーツの効果と安全」の特設ページの「探求しようよ!」で、体力の必要性を災害から身を守る力との関係で示すとともに、章末資料で、体力の測定とその活用例を示している。

(2) 運動や健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫

- 「関連」マークを付し、関連する学習内容が、他のページにあることを示している。
- 「情報サプリ」で、学習内容に関連した情報を示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- 各章の冒頭で、小単元の項目や、学習内容に関連した偉人の言葉や職業を示している。
- 「コラム」で、本文で学習する内容に関連した話題や読み物資料を 31ヶ所に示している。
- 脚注に、「リンク」マークを付し、学習内容に関連したインターネットのページを紹介している。

(2) 実生活・実社会に関連づけるための工夫

- 「心肺蘇生法」「自然災害による被害調べ」など、体験的な学習を実施するための実習資料を 8ヶ所、調査資料を 34ヶ所に示している。
- 小単元「自然災害に備えて」で、地震の二次災害による土砂崩れを扱っている。
- 大単元「傷害の防止」の特設ページの「もっと広げる深める」で、災害が予測される際の行動について考える課題を示している。
- 小単元「応急手当の意義と基本」の「コラム」「発展」で、AED の設置場所、使用目的、使用手順を示している。
- 各章の最後の「生活への応用」で、学習した内容を日常生活に生かすことについて書く活動を示している。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 小単元を、2ページまたは4ページで構成し、保健編、体育編の順で配列している。

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 「もっと広げる深める」で、「自然災害から身を守るために」「アレルギー」など、発展的な内容の資料を 13ヶ所に示している。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連がなされたイラスト・写真等の活用

- 学習活動に応じて、「ウォームアップ」「活用しよう」などのマークを付している。
- 小単元「スポーツの学び方」で、スポーツの学び方を「目標や計画を立てる」「計画に沿って練習する。」「練習の成果を確かめる」「成果に応じて目標や計画を修正する」の4段階のイラストで示している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、配色やレイアウトにしている。
- 各単元の「活用しよう」で、考えたことをまとめたり、話し合ったりする活動を示している。

5 言語活動の充実

(1) コミュニケーション能力や論理的思考力を高めるための工夫

- 各単元の「活用しよう」で、考えたことをまとめたり、話し合ったりする活動を示している。
- 「活用の問題」のコーナーで、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題や解決方法をまとめる学習活動を示している。
- 特設ページ「もっと広げる深める」で、実習などの経験を基に話し合い、解決方法をまとめる学習活動を示している。

意見

学研教育みらいの教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

学研教育みらいの教科書の特徴である、大単元「スポーツの効果と安全」の特設ページで、体力の必要性を災害から身を守る力との関係で示すとともに、章末資料で、体力の測定とその活用例を示していること、各章の最後の「生活への応用」で、学習した内容を日常生活にどのように生かすことができるかについて書く活動を示していること、コーナーや特設ページを設け、事例や実習などの経験を基に話し合い、解決方法をまとめる学習活動を示していることは、思考力、判断力、表現力の育成をめざすひろしま型カリキュラムを推進している本市の取組や筋力、全身持久力が十分でないという課題、学習したことを実生活・実社会に生かそうとすることが少ないという課題がある本市の生徒の状態により対応することができるものである。